実施大学	千葉大学
参画機関	かずさDNA研究所、鶴岡サイエンスパーク、慶應義塾大学先端生命科学研究所、株式会社千葉大学コネクト、株式会社CULTA、本多電子株式会社、塩野義製薬株式会社、日本電子株式会社、株式会社RealizeEdge Partners、株式会社Ubiquarion Japan、株式会社テクノプロ、伊勢化学工業株式会社、銚子市漁業協同組合、日本分光株式会社、株式会社ＥＮＶサイエンストレーディング、メタジェンセラピューティクス株式会社、株式会社メタジェン、白鳥製薬株式会社、株式会社MOLCURE、富士フイルムソフトウエア株式会社、株式会社プロテイン・エクスプレス

INSIGHT
産業・科学革新人材事業

2040 VISION
不確実な社会を切り開き
世界最高水準の研究を展開し
イノベーションを牽引

千葉大学における5つの取組

1 共創研究所を核とした人的交流・人材流動の促進
- 双方向クロスアポイントメント
- Industrial Ph.D.型プログラム　等

2 世界水準の広義ライフサイエンス基盤を担う次世代研究者と高度技術職員の育成・確保
- 学生へのRA費支援・多角的メンタリング
- 技術職員のパーク間相互研修・交流
- 最先端研究インフラの共同利用
- 受託解析ネットワーク　等

3 科学とビジネスを繋ぐ実践教育プログラムの開発・推進
- 参画企業との連携教育(企業創業者・経営者による特別講義等)
- MOT・RRI/ELSI等の実践教育
- 専門性を超えた柔軟なマッチングによる長期インターンシップ　等

4 (株)千葉大学コネクトと高度URA機能による伴走支援体制の構築
- 専門人材の拡充、高度化(国際拠点を利用した海外研鑽機会の提供等)
- パーク間連携の強化　等

5 多様な共創モデルによる民間投資の持続的拡大
- オープンラボの整備と企業誘致
- 伴走による共同研究大型化・展開　等

産業界とアカデミアを跨ぐ
「クロスボーダーイノベーター」育成を目指した
TRI-PARKSプロジェクト



・専門性の境界
・産学の境界
・社会実装の境界

鶴岡サイエンスパーク
(一社)TSP・慶應IAB・企業群等
メタボローム解析・起業エコシステム

かずさアカデミアパーク
かずさDNA研究所・入居企業等
世界水準のゲノミクス技術



広義のライフサイエンス領域で研究開発と人材育成を一体化
人材・知・資金の好循環を構築



TRI-PARKS
T: Talent／R: Research／I: Innovation



西千葉 Well-beingリサーチパーク
CHIBA UNIVERSITY
千葉大学の研究・教育・臨床の知見
広義のライフサイエンス・学際融合

数値目標
(3年後 → 6年後 → 10年後)
共創研究所参画企業数
15社 → 25社 → **40**社
高額※共同研究数
※1,000万円以上
38件 → 47件 → **59**件
社会人博士学生数
70名 → 80名 → **100**名

参画企業との共創研究所群



事業全体を支える運営・伴走体制

研究開発・人材育成戦略会議
全参画機関の経営・人事関係者による最高統括会議

(株)千葉大学コネクト
企業課題の把握・研究企画・調整、共創研究所の設立・運営伴走支援

学術研究・イノベーション推進機構
研究開発マネジメント、学内調整、契約・知財等の専門支援